

解説

# 人材の確保・育成から成長へ

(株)常磐ボーリング編

(本社:福島県いわき市)

■ 人事担当

しのぎ たくや  
篠木 拓哉  
(株)常磐ボーリング  
総務部

■ 若手

ひらばやし かずき  
平林 和樹  
(株)常磐ボーリング  
工事部工事主任

## 人事担当の目線

### 人材確保に関する方針と望む人材について

どの業界も似たようなものかもしれませんが、若手社員の不足は深刻です。どのような方針を立てようとも、まず働く人材がいなければ、ことは進みません。弊社で働きたいと希望する方は、まず実際に仕事をやってもらうことから始めています。

**Q1: 自己紹介を簡潔をお願いします。**

今年で入社10年目です。会社に入った理由は、学生時代の先輩の紹介で入社に至ったという経緯です。人事担当は4年ほど前から求人関係の手続きや採用、面接の担当窓口をしています。若い人を募集するのであれば、若い人が担当であった方が、お互いの意思疎通がより図れて良いのでは?という会社の方針です。

**Q2: 人材採用はどのような方法で行われていますか?**

ハローワークや各求人媒体を利用して募集をかけています。今は売り手市場なので競争率が激しいです。

**Q3: 入社されない方はどのような理由で辞退しているのでしょうか?**

他に条件が合う企業があった、あるいは仕事内容が希望にそぐわないといった部分が主だと思います。弊社は推進工事が主軸のため、全国に出張することがほとんどであり、それがネックになっていると考えております。遠出が苦にならない人ならば良いのですが、そもそも推進工事は、基本的に特殊な土木作業であり作業内容がよく理解されていない上、昔からいう3K労働です。そんな労働が嫌な人は多いでしょうから、入社する会社を探している時点で候補には挙げていても、実際に仕事の内容を説明すると、最初から働く意欲がなくなる方もいると思います。

**Q4: 若手人材の育成はどのようにしていますか?**

マニュアルがある仕事内容ではないので、やってみて少しずつやり方を覚えていくのが弊社の仕事です。そこには感覚や経験からくるものが多いため、そのあたりを理解できて自分のものにできるまでは、職長の補佐をして仕事を覚えてもらっています。現場を任せられると判断できる状態になれば、仕事を担当させてさらに経験を積んでもらいます。

**Q5：**ここ5年間の若手人材の入社数と退社数はどのくらいでしょうか？

3名入社しまして、残念ながら3名とも退社しました。

**Q6：**早期退職する若い人の理由はなんですか？

やはり出張している期間が長いことと、出張先で固定されたメンバーでの仕事に不和が発生することの2点が大きな理由だと考えています。出張が多いのは仕事の特性上どうにもできない部分ではありますが、後者についてはメンバーを交代することで本来対処可能なものですので、その部分は会社内でうまく調整を行う必要があったと認識しています。

**Q7：**今後の若手確保・育成についてどのようにお考えですか？早期離職防止の改善策は？

まず前提条件として賃金です。出張して仕事をするようになりますので、自宅に帰るのは違い、作業時間外のプライベートな部分でも制限が出ます。家庭があってこそこの仕事ですので、慣れていない人にとって身体的にも精神的にも負担となります。それらの負担を考慮しても魅力的な対価、給料であると認識してもらわなければ、若手確保における前提条件すら満たしていないといえると思います。弊社では出張に関する手当は、できる限り厚遇しているつもりですが、そのさじ加減は難しいところではあります。

また、若い人は休日を有意義に過ごしたいという意欲が強いのが実情です。友人に会えない、買った車に乗れないなどのプライベートの問題もあり、そのあたりの問題解決には、時間がかかることだと、ベテラン社員から意見が上がっています。

最近では工事現場におきまして、週休二日制を取り入れているところが多くなってきておりますが、その中でも工事の遅れなどで土曜日にも作業を行わなければならない現場もあります。それが特定の作業員に続いていくと、負担や不公平感が出てしまうこともあるかと思っております。せめてそうした状態が1人の作業員に続くことがないように、代わりに作業を行う人材を複数、ローテーションのような形で確保していけるかが大事だと考えております。



休憩中の様子

**Q8：**育成した若手が活躍するためには、会社（組織）の存続が必須です。御社の将来の見通しはどのようにお考えでしょうか？

現状では仕事の需要に目立った減少傾向はなく、安定しているといえるでしょう。また、近年では雨水災害が多発していることもあり、その点について今後対策や修繕等が増加していくことも考えれば、弊社の主軸となっている推進工事の仕事がなくなっていくということは、現時点では考えにくいです。従いまして、そこに若手が加わり技術を磨いてくれれば、この先の見通しは明るくなっていくと思います。

## 若手の目線

### 学生時代の活動や建設業を選んだ理由など

運動部に所属しており、体力がありました。体を動かす仕事に就こうと思いました。

**Q1：**あなたの自己紹介を簡潔にお願いします。

入社11年目です。福島出身であり、ほとんど地元で過ごしてきましたが、この会社は出張をすることが多いので、自分が育ってきた場所以外の土地のことを知ることができると思いました。プライベートではなかなか行けないような地域にも行くことができ、そのあたりはこの会社の魅力の一つだと思います。